

キンダーブック1 9月号



表紙の絵から

ロケットに乗って宇宙にやってきました。ちょうどお月見の晩でしょうか。空にはまんまるの月が輝き、地上にはすすきが見えます。ロケットの外側に座っている宇宙人と、UFOに乗っている宇宙人は姿が違いますね。別の星からやってきたのかもしれませんが。宇宙人に会ったら何をしたいか話してみましょう。



じしんが おきたら

ねらい 地震が起きたときに、安全に避難するための約束を確認しましょう。



地震が起きたら遊ぶのをやめて先生のそばに集まることを伝えます。部屋にある物で、倒れたり落ちたりする物がないか絵を見ながらみんなで考えてみましょう。

「みんな先生の話をしっかり聞いているね」「防災頭巾をかぶって頭を守っているね」などと話し、あわてず落ち着いて避難することのたいせつさを伝えます。



上履きのまま外に出ているのはなぜか聞いてみましょう。園の避難訓練で避難時の約束ことを改めて確認し、おとなの話をしっかりと聞くことがなによりたいせつであることを知らせましょう。



つきの かたち



ねらい 月の満ち欠けに規則性があること、さまざまな呼び名があることを知らせます。

つかい方のヒント 月の見え方によって名前が違うことを知らせ、「三日月はなんの形に似ている?」「昼間に月を見つけたことはある?」などと聞いて興味をもたせます。「月には何が住んでいると思う?」と問いかけて想像するのも楽しいですね。



カレーをつくろう



ねらい カレーの材料や調理の過程に興味をもち、食への関心を広げます。

つかい方のヒント 「おうちのカレーには何が入っている?」と尋ね、好きな食材や味などについて話してみましょう。歌コーナーも併せて読み、カレーの具のパネルシアターやペーパーサートを作っても楽しいですね。

「キンダーブック1」を 保育にご活用ください!



絵本をつかった 指導計画の文例

◆コーナー	◆子どもが経験すること	◆保育者の配慮	◆5領域
 生活習慣を身につけよう 「じしんが おきたら」	●地震が起きたときの具体的な行動を知る。 ●避難訓練のたいせつさを知り訓練に参加する。	●先生の話聞き、落ち着いて行動すれば安全に避難できることを伝え、子どもたちが不安にならないようにする。 ●避難するときの約束をていねいに繰り返し伝える。 ●頭やからだを守る姿勢を練習したり、避難経路を確認したりして、非常時に安全に行動できるようにしておく。	環境 人間関係 言葉
 想像力を養おう 「こんやは おつきみ パーティー」	●お月見の由来や、さまざまなお供え物の意味を知る。 ●キャラクターのやりとりや表情をとおしてお話を楽しみ、お月見への想像を広げる。 ●秋の味覚、草花、虫に目を向け関心をもつ。	●お月見の由来やお供え物それぞれの意味をわかりやすく伝える。 ●キャラクターの表情や動きから、みんなでお月見をする楽しさを感じられるように読み聞かせる。 ●身近な秋の野菜の栽培や収穫について説明し、興味や感謝の気持ちをもてるようにする。 ●実際におだんご作りをして、お月見の気分が味わえるようにする。	環境 言葉